

施設介護ボランティアだより

No.6

令和4年1月24日

令和4年がスタートしました。秋から施設介護ボランティアの派遣も少しずつ再開し、喜んだのも束の間、新型コロナウィルス感染者数が増加し、再び各施設での面会制限が強まりました。今後の感染状況を見ながら、屋外の活動などコロナ禍でもできることを考えながら少しずつ活動を続けていきます。

施設介護ボランティアフォローアップ研修会を開催しました

令和3年11月18日(木)施設介護ボランティアフォローアップ研修を開催しました。百日紅の家 西村真紅さんに講師を依頼し、認知症の方との関わりにおいて大切なことや認知症の症状について学びました。

意見交換の場では、ボランティアを受け入れる側の施設職員とボランティアが直接交流することで、ボランティア活動の必要性を感じる良い機会となりました。また、認知症についての講話は、「自分の今後のためになった」との意見も聞かれました。

令和4年1月7日(金)には、清水高校生対象にフォローアップ研修を開催しました。

ボランティアを経験して、車椅子移動が難しい道路状況に気づいたことや、高齢者への接し方について、積極的に意見交換ができました。

「人の役に立ちたい」との言葉が頼もしくうれしい時間となりました。



～ボランティア番外編～



ゆうわ渭南入居者さんの百寿のお祝いに招かれましたが、参加できなかったので、お祝いの気持ちをカードにしてみました。



ボランティアさんが手作りのおもちゃを作ってきててくれました。

活動が再開したら、施設介護ボランティアで使わせてもらいます。



特定非営利活動法人ふくしねっとCoCoてらす(担当中山) 787-0321 土佐清水市浜町6番22号

TEL:(0880)87-9209 FAX :(0880)87-9216 E-mail:cocoterrace@fukushinet.or.jp CoCoてらすHP=



施設介護ボランティア活動報告



11月9日、百日紅の家「青空交流会」へボランティア2人職員1人で参加しました。

1年ぶりの活動に、ボランティアさんから「楽しかった」との感想が聞かれました。



11月20日、ゆうわ渭南の外出に、高校生ボランティア4人と職員一人で参加しました。車いす移動を手伝ったり、一緒にジョン万次郎資料館を見学しました。

1時間ほどの短い時間でしたが最後は「またね」と別れを惜しむ姿が印象的でした。



12月25日、ゆうわ渭南のクリスマス演奏会にボランティア2人、職員1人で参加しました。オーボエの素敵な音色を入居者さんと楽しみました。

寅年のスタートにちなんで虎にまつわる豆知識

「虎は千里行って千里帰る」ということわざにもあるように、精力的で高い行動力、強い生命力の象徴として、あらゆる災いを払うとされています。

また、黄金の縞模様であることから、金運アップの象徴でもあり、寅の日に財布を使い始めると出ていったお金も戻ってくると言われています。

寅年の一年がスタートしました。コロナの災いも追い払ってくれるといいですね。



